

情報公開用文書（横浜市立大学医学部で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2022 年 5 月 17 日作成 第 1.0 版

研究課題名	胃悪性腫瘍の生存率及び予後因子・リスク因子の研究
研究の対象	2000 年 4 月～2022 年 4 月の間に、横浜市立大学附属病院 消化器一般外科で胃悪性腫瘍と診断された患者さんを対象とします。
研究の目的	胃悪性腫瘍の治療において、手術療法と化学療法等が広く行われていますが、近年新規化学療法、免疫チェックポイント阻害療法、またロボット支援手術療法などの新しい治療法が行われることが増えてきました。新規の化学療法、免疫チェックポイント療法、またロボット支援手術療法は比較的新しい治療法ですので、その有効性や副作用の程度について国内の報告が少なく、明らかにしておく必要があります。今回の研究は、従来手術療法や化学療法等との治療成績や副作用の程度を比較し、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、生存等に関わる予後因子・リスク因子について検討します。いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none">・背景情報：年齢、性別、既往歴・手術情報：術式、出血量、合併症等・病理結果・血液検査の結果：白血球、ヘモグロビン、血小板、アルブミン、CRP 等・化学療法や放射線療法の情報：薬剤名や期間、効果等・転帰
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管理	検体・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 消化器・一般外科 青山徹

情報公開用文書（横浜市立大学医学部で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

利益相反	本研究は、横浜市立大学の基礎研究費を用いて行います。本研究で効果を検討する薬剤の製薬会社と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 消化器・一般外科 （研究責任者）青山徹
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 消化器・一般外科 （研究責任者・問い合わせ担当者）青山徹 電話番号：045 - 787-2800（代表） FAX：045 - 787 - 0226</p>	